投薬禁忌リスト

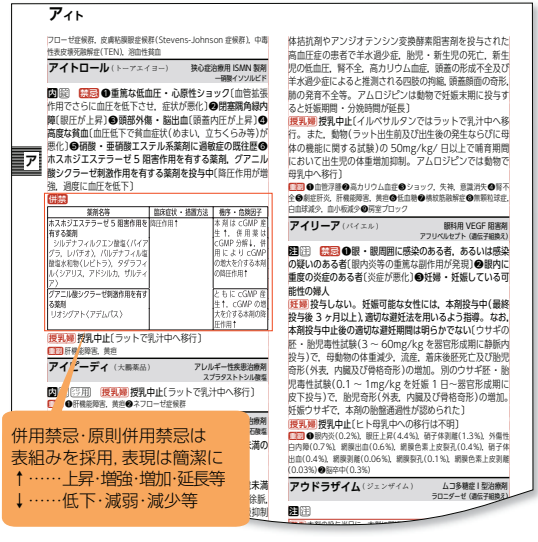
平成 30 年版 ｜ **4月発刊予定**

定価　**本体 3,900 円**+税／B５判２色約650頁
ISBN978-4-7894-1601-6 C3047 ¥3900E

商品 No.12526

臨床使用で要注意な，警告・禁忌等を簡単チェック
『薬効・薬価リスト』をさらに深める姉妹図書

- 禁忌事項または重大な副作用がある薬剤を商品名50音順に収録。**禁忌等の情報が簡単にチェック**できます。
- 先発医薬品･後発医薬品を問わず，商品ごとの**併用禁忌情報が一度引きで確認**できます。
- 巻末付録に，２つの早見表を追加。本文から必要最小限の情報を抜粋し，ひと目でさっと確認できる一覧です。
  ～『妊婦「投与しない」，授乳婦「授乳中止」に該当する薬剤早見表』『併用禁忌に記載のある薬剤名等一覧』



アイトロール（トーアエイヨー）　狭心症治療用 ISMN 製剤 ―硝酸イソソルビド

禁忌　❶重篤な低血圧・心原性ショック〔血管拡張作用でさらに血圧を低下させ，症状が悪化〕❷閉塞隅角緑内障〔眼圧が上昇〕❸頭部外傷・脳出血〔頭蓋内圧が上昇〕❹高度な貧血〔血圧低下で貧血症状（めまい，立ちくらみ等）が悪化〕❺硝酸・亜硝酸エステル系薬剤に過敏症の既往歴❻ホスホジエステラーゼ５阻害作用を有する薬剤，グアニル酸シクラーゼ刺激作用を有する薬剤を投与中〔降圧作用が増強，過度に血圧を低下〕

併用禁

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
ホスホジエステラーゼ５阻害作用を有する薬剤 ・シルデナフィル(クエン酸塩(バイアグラ，レバチオ)，バルデナフィル塩酸塩水和物(レビトラ)，タダラフィル(シアリス，アドシルカ，ザルティア))	降圧作用↑	体内では cGMP 産生↑，併用しない cGMP 分解↓，併用により cGMP の高大を行する本剤の降圧作用↑
グアニル酸シクラーゼ刺激作用を有する薬剤 ・リオシグアト(アデムパス)		ともに cGMP 産生↑，cGMP の増大を行する本剤の降圧作用↑

授乳婦 授乳中止〔ラットで乳汁中へ移行〕
重篤 肝機能障害，黄疸

アイピーディ（大鵬薬品）　アレルギー性炎症治療剤 ―スプラタストトシル酸塩

禁忌　❶重篤な腎障害，黄疸❷ネフローゼ症候群

授乳婦 授乳中止〔ラットで乳汁中へ移行〕

体結抗剤やアンジオテンシン変換酵素阻害剤を投与された高血圧症の患者で半水過少症，胎児・新生児の死亡，新生児の低血圧，腎不全，高カリウム血症，頭蓋の形成不全及び半水過少症によると推測される四肢の拘縮，頭蓋顔面の奇形，肺の発育不全等。アムロジピンは動物で妊娠未期に投与すると妊娠期間・分娩時間が延長〕

授乳婦 授乳中止〔イルベサルタンではラットで乳汁中へ移行。また，動物（ラット出生前及び出生後の発生ならびに母体の機能に関する試験）の 50mg/kg/ 日以上で哺育期間において出生児の体重増加抑制。アムロジピンでは動物で母乳中へ移行〕

重篤 ❶血管浮腫❷高カリウム血症❸ショック，失神，意識消失❹腎不全❺重症肝炎，肝機能障害，黄疸❻低血糖❼横紋筋融解症❽無顆粒球症，白血球減少，血小板減少❾房室ブロック

アイリーア（バイエル）　眼科用 VEGF 阻害剤 ―アフリベルセプト（遺伝子組換え）

禁忌　❶眼・眼周囲に感染のある者，あるいは感染の疑いのある者〔眼内炎等の重篤な副作用が発現〕❷眼内に重度の炎症のある者〔炎症が悪化〕❸妊娠・妊娠している可能性の婦人

妊婦 投与しない。妊娠可能な女性には，本剤投与中（最終投与後 3 ヶ月以上），適切な避妊法を用いるよう指導。なお，本剤投与中止後の適切な避妊期間は明らかでない〔ウサギの胚・胎児毒性試験（3 ～ 60mg/kg を器官形成期に静脈内投与）で，母動物の体重減少，流産，着床後胚死亡及び胎児毒性（外表，内臓及び骨格奇形）の増加。別のウサギ胚・胎児毒性試験（0.1 ～ 1mg/kg を妊娠 1 日～器官形成期に皮下投与）で，胎児毒形（外表，内臓及び骨格奇形）の増加。妊娠ウサギで，本剤の胎盤通過性が認められた〕

授乳婦 授乳中止〔ヒト母乳中への移行は不明〕

重篤 ❶眼内炎（0.2%），眼圧上昇（4.4%），硝子体剥離（1.3%），外傷性白内障（0.7%），網膜出血（0.6%），網膜色素上皮裂孔（0.4%），硝子体出血（0.4%），網膜剥離（0.06%），網膜裂孔（0.1%），網膜色素上皮剥離（0.03%）❷脳卒中（0.3%）

アウドラザイム（ジェンザイム）　ムコ多糖症 I 型治療剤 ―ラロニダーゼ（遺伝子組換え）

併用禁・原則併用禁忌は
表組みを採用，表現は簡潔に
↑……上昇･増強･増加･延長等
↓……低下･減弱･減少等

併用禁忌に記載のある薬剤名等一覧

本文中の〔併用禁忌〕の項に記載のある薬剤のみを抜粋し，確認しやすいよう一覧にした。［薬剤名／一般名］は本書の見出し語に準じ，五十音順に並べた。〔併用禁〕では本文中に記載のある成分と製品名を掲載し，薬物群の記載があるものは薬物群のみを掲載した。
※〔併用禁忌〕における臨床症状・措置方法，また機序・危険因子については，各薬剤の本文該当ページを参照。

薬剤名／一般名	併用薬
アイオピジン LD／ノプテグロビニン塩酸塩	モノアミン酸化酵素阻害剤
アイソボリン／レボホリナートカルシウム	テガフール・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤（ティーエスワン）
アイトロール／一硝酸イソソルビド	ホスホジエステラーゼ５阻害作用を有する薬剤 グアニル酸シクラーゼ刺激作用を有する薬剤
アザニン／アザチオプリン	ロクタン フェブキソスタット（フェブリク）
亜硝酸アミル／亜硝酸アミル	[狭心症] ホスホジエステラーゼ５阻害作用を有する薬剤 グアニル酸シクラーゼ刺激作用を有する薬剤
アスケート／アスパラギン酸カリウム	エフレレノン（セララ）
アストフィリン／ジプロフィリン・ニカルビン配合剤	カテコールアミン製剤
アストマリ／アミキシトロールアフィン塩酸水和物塩	MAO 阻害剤
アストモリジン M／ジプロキシフィリン・エフェドリン配合剤	カテコールアミン ポリコナゾール（ブイフェンド） ダダラフィル（アドシルカ） ソルビプリン（エビシュウ＋コムプレッ配合錠） アスナプレビル（スンベプラ） ダクラタスビル（ダクルインザ） パニプレビル（パニペッブ） マシテンタン（オプスミット）
アストモリジン D／ジプロキシフィリン・エフェドリン配合剤	カテコールアミン ポリコナゾール（ブイフェンド）

巻末資料の一覧

『併用禁忌参照のための薬物群と成分および製品』
『併用禁忌に記載のある薬剤名等一覧』
『妊婦「投与しない」，授乳婦「授乳中止」に該当する薬剤早見表』
『飲食物・嗜好品等と医薬品の相互作用一覧』